夕刊
新京日日新聞
定價 一箇月 金八十五錢 一部 金三錢
發行所 新京日日新聞社

東西文化の對立と日米關係の重大化

海軍少將 井上四郎氏談

我國が從來の追隨外交を清算して獨力を以つて東洋の平和を保持し、世界に信義を布き、人類の福祉を增進せんとするに至りたる、この偉大なる國力の發展は、云ふまでもなく君民一體の三千年來の尊い歴史の然らしむる所である

皇紀二四二五年英人ジエムスワツトが發見したる蒸汽機關は物質文化の歐洲をして長足の進歩を促し遂に白人の世界支配を可能ならしめた、而してこの物質文化は大西洋を越えて米國に渡り、米國はその豊富なる天然の資源とピユリタンの自由思想とによつて天馬空を翔けるが如き國民性を作り舉げ僅々百五十七年にして世界人口の十七分の一即ち一億二千五百余萬人を占め日、英、佛、獨、露、伊、の六ケ國にも敵するが如き巨額の富を占有してゐるのである

然るに米國は今日余りに唯物主義に偏した結果、精神文化の發達が遅れギヤングの横行リツチの頭殺等官憲にしてよくこれを制する能はざるの狀態にある、而して一度世界不況の襲來するや失業者は一千二百萬を越え在郷軍人の恩給騷動をさへ惹起するに至つた

口

顧つて我國を見るに、印度佛教、支那儒教がその發生地に於て既に衰微してゐるに拘らず日本に渡來以來著しき發達をとげ皇道精神及日本國民性の涵養に大なる役割を果し、日本精神文化の基調に數へられてゐるのである

かく云へばとて吾人は必ずしも物質文化を排斥するものではない我國は明治維新以來西洋の物質文化を輸入して飛躍をなし遂げたのであつて僅々半世紀の間によく今日の物質文化は寧ろ人類向上の一礎石であるに相違ない、併し或一部の物質萬能中毒患者の如く徒らに物質文化を謳歌するの誤りは既に前述の米國の例によつて明白である

米國は我國の各方面に至大の影響を與へ・日本人にしても米國人を尊敬するもの漸次增加しつつある、然るに米國人は日本人を理解しない、日本精神文化に對して何ら敬意を表しない、茲に今日ともすれば唱へられる日米間の疎隔があるのではなからうか、吾人は我が精神文化の有する價値を米國人に認めしめ、而して眞の人類幸福、平和は文化の調和にある事を高唱して之に精進努力せねばならぬと思ふ

口

今や精神文化と物質文化の世界的代表たる日米兩國は太平洋を挾んで相對立してゐる日米關係の將來如何は世界平和人類の福祉に至大の關係があり、從つて我國は從來屢々兩國國交の圓滑を計るに吝ならざるものであつて、軍備の如きも只自らを守り得れば足るの方針をとつて來た

然るに物質文化の米國は常にモンロー主義の影に隱れ、東洋に對す野心を抱き機會均等、門戸解放を大辭し、その海軍の如きは日本の三に對して五といふ比率の整備に努めてゐるのである、現に前軍令部長エベリ大將は「モンロー主義擁護の爲には防禦的海軍で足る、支那に於ける機會均等、門戸解放主義を遂行するにはどうしても大海軍でなければならぬ」と公言してゐるではないか

かく米國海軍の目的は門戸解放、機會均等の旗を擁護して太平洋一萬粁を突破して東洋に進出せんとするに外ならない、今次滿洲事變に對するスチムソン前國務長官の數次の抗議に見るも思ひ半ばに過ぐるものがある

吾人は敢て門戸解放、機會均等を破り、利益を獨斷せんとするものではない、併し乍ら美言麗句の下に隱れて軍備を整へ、東洋に侵出し來つて平和を攪亂するが如き事あらば斷々固として之を排撃せねばならぬ、一死易し、併し一死よく國家を救ふ、此の覺悟さへあらば、三、五、五の軍備比率も何ら恐るるに足らぬ

口

併し乍ら向後四年の後若し米國海軍の充實を見るに至つたならば、或は國家の安危に關する事はないか、今や我國は未曾有の非常時に直面してゐるが、それは未だ第一歩たるに過ぎない、今後來るべき重大時期を覺悟して、彼國の軍備、航空施設等を究め平素より大いに備へるところあらねばならぬ、敢て國民の猛省を促す所以である

大同二年度一般豫算は一億三千萬圓を限度 各部要求の四割削減

滿洲國大同二年度一般歲出入豫算は、目下國務院主計處に於て編成中で遲くも六月十日迄には最後的決定を見る筈であるが滿洲國財政の實狀に立脚して歲入總額一億三千萬圓を最大限度とする緊縮方針を以て臨む事に決定、比較的緊急を要せざる新規事業は、全部次年度へ繰越すこととなり、二億一千七百萬圓に達する各部歲出要求に對し約四割八千五、六百萬圓程度の大削減は免れぬものと觀測される建國第二年度より愈々積極的活動に入らんとする各部新規計畫に一大支障を來すものとして、各部より猛烈なる削減反對運動あるものと豫想されその成行きは注目されて居る

國都建設の根本方針成り 建設事業は更に一步を進む

國都建設計畫と並行して新京特別市政公署で新國都の威容を整ふべく城內市街の建設改修に全力を傾注、更に建設の根本方針として

一、國都建設局建設事業に併行して實施する

一、建設計畫は、建設局滿鐵等關係方面と緊密なる協調をとり之に當る

一、道路改修、衞生機關の整備を第一段の目標とし、次いで教育保健其他の公共事業に着手する

この方針を確立、この方針の下に城內主要街路改修に着手衞生隊の增員、病院の新設、衞生教育、下水道の完備等に及び更に上水道の試掘、學校の整備等に着手し茲に市政公署の建設事業は、更に一步を進める事となつた

新計畫で國內交通網の完成を急ぐ

滿洲國內に於ける交通網の完成に就いては、奉天にある鐵路總局等に於いて鐵道幹線道路の整備に着々工事を進めつゝあるが、其他土木事業施行のため豫ねて民政部土木司に於て、全國各縣に對し徵求中であつた各縣の調査意見等が出揃ふたので民政部では、更にこれを加味せる新なる計畫の下に縣土木事業の完成を急ぐこととなつた

滿鐵重役會で對鮮鐵交涉方針を協議

【大連二十六日發國通】七年度決算株主總會準備等重要用務を帶び上京政府要路と打合せ中であつた八田滿鐵副總裁は二十六日入港のうらる丸で歸任したので滿鐵では午前十時より正副總裁以下在大連各理事出席重役會議を開き先づ八田副總裁より東京に於ける折衝事項の報告あつて後、村上理事より北鮮鐵道委任經營に關し嚢に京城でなした第一次交涉經過を報告、償金及び從業員待遇問題等に就て朝鮮側と滿鐵案との間に相當開きあることを開陳した模樣でこれに對し滿鐵今後の方針を決定し正午散會したが、村上理事は來月始め京城に赴き愈々本格的交涉に入る筈である

國鐵統一後鐵道收入激增

【大連廿七日發國通】滿洲國有鐵道が鐵路總局の管理下に統一されて以來車輛の融通及び直通貨物の列車運轉等の爲鐵道收入激增しその餘波は滿鐵線にも傳はり南下貨物の激增を見るに至つた

試みに昭和六年度（昭和六年十月より昭和七年九月迄）輸送の東行及び南行の貨物輸送量は東行八四〇七三〇瓩に對し、南行は一一五九〇六九瓩にして昭和七年十月より本年三月迄の東行一六八三九四瓩南行六一七六九〇瓩と比較すると東行南行の差は漸次增大されつゝあり、今期特產出廻期以後に於ては拉賓線の完成と相俟つて輸送貨物は南行が獨占すべく觀測される

滿洲國に銀貨を流通せしむべし ピツトマン氏談

【ワシントン廿五日發國通】上院外交委員長ピツトマン氏は二十六日午前十時より日米兩國專門家間に行はれる第二次會商に參加し貨幣問題に關し意見を述べる事となつたが同氏は特に銀貨回復案に就き日本側の支持を要請するものと見られる

ピツトマン氏は、銀價の回復に就き特に滿洲國に着眼してゐるものゝ如く該問題に關する日米兩國關係につきピツトマン氏は語る

石井、深井兩全權は、余に對して銀價引上げに關する日本の利害は、米國の利害に一致する旨を確言した、現在滿洲には約三千萬の支那人が居住してゐるが、彼等は一般支那人同樣銀を尊重し、殊に張學良の紙幣濫發の惱禍にこりて熱心に銀貨の流通を希望してゐる、滿洲國こそは、銀貨流通の分野であると確信する

ニユーヨーク準銀 割引步合引下げ

【ニユーヨーク廿五日發國通】ニユーヨーク準備銀行は廿六日公定割引步合を四分より二分半に引き下げた

錢莊交易所 哈大洋建てを國幣建てに改む

新京城內錢莊交易所では、六月一日より從來の哈大洋建を廢止し、國幣建を採用する事に決定した

三菱工業三分增配

【東京廿六日發國通】三菱工業では本日株主總會を開き、三分增配の年八分と決定した

郵船無配

【東京廿六日發國通】日本郵船では株主總會を開催、無配繼續する事を可決した

珠玉を碎く

吉井勇　（高根秀浩畫）

禁無斷上映上演

送別會（九）

銀座は今が丁度人の出盛りの絕頂だつた。そこには以前よりは眩しい感じのいゝ家がずらりと並んで、店頭の裝飾からは、眩しいほどの電燈の光りが舗道の上に溢れ出て、その步道を往來するやうな人の上に浴びせかけられた。電車、自動車、乘合自動車——さういつたものが引き續いてけたゝましい響きを立てゝ通り過ぎたかと思ふとその後から、地方版を停車場へ運ぶ新聞社のトラックが、凄じい地響きと一緒に魔物のやうに飛んで行つた……。

いひ合せたやうに銀座の交番の後で立止まつた二人は、ほとんど同時位に口を切つた。

「何處かでカクテルでも飲まうぢやないか」

「さあ、何處がいゝだらうな」

暫らく默つてゐた後で、大貫は不圖思ひ出したやうに松本に訊いた。

「あゝ、カフエライオンつて家があつたね。あれはどうなつたかい」

「あゝ、やつてゐるよ。あすこへ行かうか」

「うん……」

二人は急いで車道を向ふ側に渡つた。そこは丁度カフエライオンの前だつたので、松本はずんずん中に入つて行つたが、大貫は不圖そこの舗石の上に立つて花を賣つてゐる身裝の見窄らしい外國人の女がゐるのを見ると、洋袴の衣兜の中から五十錢銀貨を一枚探し出して花を買つた。がカアネーションの花にアスパラカスの葉をあしらつた花束を受取つて、

「ありがと……」

といふ片言の日本語を聽くと、大貫は何故自分がこの異國の女に同情したか解つたやうな氣がして急に胸中が熱くなるのを感じた。日本を去つてから長い間に彷徨してゐる大間のことが忌々しくも思ひ出された。

「畜生……」

短く、吐き出すやうに、さうつぶやいたかと思ふと、かれは突然今買つたばかりの花束を、舗石の上に叩き付けて、そのまゝちよつと肩をそびやかすやうな格好をしてカフエライオンの中に入つて行つた。

カフエの中は、騒高な話聲や、われるやうな笑ひ聲や、さういつた騒音でみたされてゐた。こゝも今が一番客の出入りの激しい時分と見えて、どのテーブルを見ても空いてゐる椅子といふものはひとつもなかつた。客が出て行つた後の空席は、直に入つて來た新しい客のために滿たされてしまつた。柱に取り付けた螺旋形の電燈の光りも濛々と立ちこめた煙草の煙にすつかり曇つて空氣もどんよりと濁つてゐるやうに感じられた。

大貫はちよつと逡巡いたやうに立ち止まつたが、往來寄りの窓際のテーブルから、延び上るやうにしてこつちを見てゐる松本の顏を見付けると、合圖をするやうに輕く點頭いて、そつちの方へ近付いて行つた。

「何をしてゐたんだ」

「うゝん、ちよつと……」

大貫が椅子に腰を下ろすと、松本はちよつと指を上げて女給を呼んでから、

「君は何を飲むね」

「さうだな。カクテルでも貰はうかね」

「カクテルか……。カクテルには何がいゝ」

大貫はもの珍しさうにぐるりと內部の光景を見廻してゐたが、

「何でもいゝや。マンハツタンにでもして貰はうか」

そこへ女給がやつて來たので、松本は直にマンハツタンカクテルを二つ命じた。

英米の反對演說に我が海軍當局緊張
佐藤代表の聲明注目さる
軍縮一般委員會

【東京廿七日發國通】廿五日の軍縮一般委員會での佐藤全權の聲明に對し、英米代表が反對演說をなしたとの報導は海軍當局を緊張せしめた若し見解の相違より、彼我衝突會議決裂するも已むを得ずとの次ぎの如き强硬態度を持してゐる

一、昨年末の帝國提案と各國提案を英案の審議の途上、合せて審議する樣保留して居る

又帝國政府が自案に基き如何なる聲明をなすも自由である

一、ワシントン及ロンドン兩條約の効力を一九三六年以後も持續せんとの名義及同條約の數字を基礎に新協定を作らんとするは、帝國本來の主張を無視するもの故受諾不能である

一、英米兩國が飽くまで兩條約の効力を主張するなら、帝國の立場を闡明し會議決裂を招くも已むを得ず

海軍省聲明

【東京廿六日發國通】海軍省では談話の形式で左の聲明をなした

廿五日佐藤全權は海軍々縮問題に關する聲明をなし、帝國の主張を闡明し同時に英國の提案に修正要求をせるに對し英米代表が反對したと傳へられるが、帝國は全權の主張が妥當なるを確信すやがて世界各國の容認するに至るを信ず

政府組織の準備をなす

三、河北ソヴィエートは蒙古ソヴィエートと連絡しソヴィエートロシアより武器彈藥類の供給をうける重要使命を有す

四、河北ソヴィエートは創立頭初廿露支民團又は抗日の名義とす

蔣は國民の敵
先づ逮捕せよ
馮の反蔣通電未然に押へらる

【天津廿六日發國通】廿三日馮玉祥は張家口で次の如き反蔣通電を發せんとして當局に押へられた

蔣は中國の元首なるに拘らず救國抗日をとなへつゝその爲す所は之に反してゐる最近蔣は日本と妥協的態度に出でつゝあるが前線に專ら雜軍を充てゝ之が掃滅を俟つて黃郛を北上せしめ妥協を進行せしめんとしつゝある、その心事は實に惡むべく我々諸君同志は先づ蔣を逮捕！抗日の障害を除去し以て救國の實を擧ぐべきである

愛國の同志我と共に起て！

北平政務整理委員會
六月一日成立

【天津廿六日發國通】北平政務整理委員會は六月一日成立に決定、同會々務主任王樹翰、同委員張伯黎は、本日午後天津より北平着、黃郛を訪ひ種々重要打合せをなすところがあつた

于學忠衞隊を增加し
對日戰備を整ふ

【天津廿六日發國通】一方に和平交涉を唱へつゝ于學忠は一方着々戰鬪準備を整へつゝあり、最近自己の衞隊を保安隊に改編、從來千八百名位であつた保安隊を六千五百名に增加、日本租界の境界線の要所々々にこれを配置土嚢を積んで物々しい警戒をして居る

河北動搖に乘じ
共產黨俄然
活動開始

【天津廿六日發國通】平津地方動搖を機として河北共產黨委員は密に河北赤化の魔手をのばしつゝあるがこの程中央執行委員會より河北紅軍組織に關する左の如き重要命令を受け俄然活潑な活動を開始した

一、河北共產黨委員は各縣に農工先鋒隊を組織すべし

二、先鋒隊は一縣に三隊とし二十才以上三十五才以下の壯丁を以て組織一隊百五十名、一縣四百五十名とし河北省全体に七千五百名の編成をなし河北ソヴィエート

果然京大法學部の
全職員總辭職
學界未曾有の出來事

【京都廿六日發國通】瀧川教授の休職處分に對する文部省の電報は廿六日午後三時過ぎ小西總長の手許に到着したので、小西總長は直ちに折柄教授會に出席中の宮本法學部長を總長室に招き其旨傳へたので宮本法學部長は教授會に引返し全教授に報告を終つた後再び小西總長と會見し、かねてから保管中であつた教授、助教授、講師、助手、副手四十名の辭表を一括して提出した

この結果京大法學部の全機能は完全に停止されたが、斯くの如きは帝國最高學府未曾有の事である

法學部學生上京

【京都廿六日發國通】瀧川教授問題に關し京大法學部學生は二十六日午後大會を開き文相に對する決議を可決し、同夜派遣委員がこれを携へ上京文相に手交する筈である

文部省
小西總長の
立場を考慮

【東京廿六日發國通】文部省では小西總長の辭表に對して內諾々與へ再選されれば小西總長の立場を考慮して再任する筈である、教授の辭表は離讀的に反省を促し、應ぜねばこれを受諾し、之が補充の手筈をなして居る

支那駐屯軍
一部交替

【東京廿六日發國通】陸軍省公表——支那駐屯軍一部の定期交替として、第一、第四兩師團より各一步部隊を編成派遣せらるゝこととなり、二十六日上奏御裁可の上發令せられたり

等を誘ひ出し、廿四日には、一同支那風呂屋を占領、驅けつけた同地保衞團長に銃口を向けると云ふ亂暴さに團長は遂に保衞團員を招集して同風呂屋を包圍して全部武裝解除した

討熱作戰
空の勇士新京
に凱旋

【錦州廿七日發國通】廿六日午後二時十分錦州通過の列車にて深本中尉以下廿余名は奉天經由新京に凱旋したが、右は何れも討熱戰以來幾多の戰功を樹てた我空軍の勇士で中にも西輝曹長の如きは二月廿日太平房の爆擊以來常に國民の愛國心の結晶たる愛國號を操縱して各地に偉勳を顯はした勇士である

滿洲國軍
塘坊に進む

【天津廿六日發國通】北寧鐵路を猛進中の滿洲國軍の前線部隊は、塘坊にあり、蘆臺に在る敵軍最前線の裝甲列車と峙中

平漢線で
支那兵暴行

【天津廿六日發國通】廿三日平漢線郾城に來着した將兵三百餘名は、割當てた宿舍が狹隘だと云ふので附近に在る小學校に勝手に入り込み、小學生

滿洲問題に就き
米國へ警告す（七）
米國記者ナサニールペッファー論說

此の疾患たるや少くとも五十年此の方列强が支那への競爭的侵略に依り作り上げたものである、十九世紀の後半に於て西洋諸國を陶醉せしめ之を「アフリカ」と亞細亞との征服（略）の亂舞に役ぜしめたところの帝國的勢力に對する渴望の爲めに支那は掠奪の目的物として目を着けられた

併し掠奪物には多くの競爭者が有り分割に同意する者もなく又相互に追出を爲し得ずもなかつた

列國（强）は皆爭つた、日本と露西亞は勝負のつく迄戰つた戰は遂に歐洲にまで移された、それから極東の爭は幾分下火になつた、勿論日本と亞米利加が互に探り合ひ露西亞がうろ〳〵注視して居たと云ふ事は有るには有るけれども最近に至つて支那がその獨立を取り返すべく侵略者に對抗して「支那の排他」と形式を取つて紛爭になつて來た

日本と支那は其の係爭問題に關して現に爭つて居る、露支は一九二九年に戰つた、支那が異議を申立る租借地及他の特權を英國佛蘭西米國及其の他の國は有つて居る、して見れば極東は戰爭の養殖場の觀がある支那が獨立國になり得るか否か又は何れの國に隸屬するを問はず支那は一か八か之を決定する爲めに大なり、小なりの戰爭の連續を有せなければならないのである

競爭者の有る限る極東に平和が有り得る筈がない、此等の野心が滿足されるか又は放棄されるに非ざれば平和は有り得ない、野心の滿足は只再三再四の戰爭の終局としてのみ實現し得る、之に代るべき途は野心の放棄以外にないのである、吾等が建設的に此處に提議し得る事は次の戰爭の勃發を待つて然る後夫れを惹起した條件から離れて之を處理し樣とするのではなく前以て豫防手段を講ずる事である

若しも吾等の平和要求が聯盟規約や「ケロッグ」條約の含意に依つて正しく測定し得るものとすれば列强は公式に商議に會合し一八四二年、（一八四二年は所謂阿片戰爭の結果英國が香港を入手したる年）に支那との關係が設定されて以來築き上げられた國際的機構を取り崩す事に依つて極東に於ける平和の基礎を確實に開掘すべきである

處が會議となると列强はワシントン會議に於て爲した如く同樣に權利放棄と云ふ物柔かな一般的規則を草案する以上の事を爲すであろう、彼等はそれら誠意の象徵と爲すであろう

極東に於ける紛爭は支那の獨立の回收及支那にあつて互に競爭する國家主義的侵略の前衞に對校する支那の反對と云ふ事が中心となるのである

各國とも他國が欲する、何れの國も他國より自國を不利に導く立場に置かれる虞れがあるから何物をも放棄すると云ふ事はすまい

切取扱はざる事に方針決定し近く布告を發する筈である

東鐵問題の外務省
反駁回答文を發表

【東京廿六日發國通】東鐵問題の外務省の回答文は、午後四時發表された

ソ聯政府が滿洲官憲と日本人顧問の行動並びに出先官憲の行動が東鐵に重大な事態を生じたりとし、帝國政府に利權擁護の爲有效な手段を執らんことを要求せり

帝國政府は出先官憲に調査させた所左の如くである

一、日本軍人のハルビン埠頭事務所占領云々については一九三二年の大洪水以來建築物が極度に不足し、日本軍砲兵司令部では松花江第八區埠頭の建物を滿洲國交通部東北江運處より臨時借入れたもので、日本官憲が奪取したと云ふが如き事實なし

一、日本軍輸送運賃問題は商議解釋せられつゝあり、帝國軍部が本件交涉を故意に遷延し其結果東鐵の財政を惡化せしめたといふは當らず、內交涉の未成立にも拘らず、前後五回、二百二十萬圓前渡ししたり

一、在滿日本官憲は東鐵に關する滿蘇の紛議に關與せず

一、客年四、五月檢擧せられた聯邦人は日本軍に對し危害を加へんとしたるものなれば當然の事なり

尙最後に東鐵に關する紛爭解決は滿蘇の接衝にまつべきもの協定書に依り帝國は紛爭の推移に注意を拂つて居る

東鐵管理局
制度改造問題協議

【ハルビン廿六日發國通】交通部森第五科長は目下建設中の○○線上空を＝飛翔＝し二十六日午前十時五十分新京より當地へ飛來、直ちに東鐵督辦公署に入つたが森科長今次來哈の目的は東鐵管理局制度改造のためで、副管理局長の權限擴大問題を蘇聯側に提示するにあるが、管理局長問題はあくまで質量共に滿蘇折半主義を主張し、從來の一方的事務の處理は共同經營の精神に反するので、積弊を一掃せんとするもので、副管理局長の權限問題については局長副局長に同一權限を附與し一方的サインにより將來する事務上の＝紛爭＝を根柢より除去せんとするものである

支那行き郵便物にも
必ず切手を！
近く布告される模樣

【奉天二十六日發國通】昨年七月滿洲國が郵政接收を開始して以來滿洲國より支那本土向け郵便物に對しては、支那は滿洲國を承認しないと同時に同郵便物に貼られてゐる切手も認めず無切手として倍額を受取人より徵集して居るので、滿洲國人中には滿洲國切手の有無に拘らず倍額を徵集されるならばとの理由の下に無切手投函する者あるに鑑み滿洲國郵政局ではこれを防止すべく今後これが郵便物は一

六月廿日
奉天で
朝鮮人聯合大會

【奉天二十六日發國通】六月一日奉天に於ける全滿朝鮮人聯合大會が開催されるが、與京朝鮮人民會は、同聯合會に左記六議案を提出に決定した

一、朝鮮自警團組織の件
一、領事館設置の件
一、飛行場設置の件
一、金融機關設置の件
一、農業倉庫設置の件
一、普通學校設置の件

東京で正式協議せん
太田大使に訓電

【東京廿六日發國通】東鐵買收に對する帝國政府の態度は廿三日の閣議で正式決定したので、右決定に基き上京中の大橋滿洲國外交次長は本國と打合せ中の處廿六日外交總長謝介石より同國でも東鐵買收に異議なき旨回答して來た、依つて外務省では廿六日午後直ちに在モスクワ太田大使宛訓電を發し東鐵は滿洲國で買收するべく其價格、支拂方法等に就て速に東京に日、滿、蘇三國代表會合して改めて正式協議を行ひたき旨蘇聯外交委員長リトヴィノフ氏へ口頭を以て意思表示をなさしむる事となつた

國境に突如
蘇聯偵察機現はる

【ハルビン廿六日發國通】信ずべき筋への入電によれば、廿九日午前六時頃蘇滿國境第八十六待避驛上空に蘇聯偵察機が姿を現はしこれに驚嘆したと見される住民を尻目にかけて飛去つた、附近住民の噂によれば約四萬五千の赤衞軍が一兩日前ダウリアよりアバガイト方面に移動したと

日滿合辦通信會社
々長に內定の
山內中將來京

新設される日滿合辦通信會社の社長に內定の山內靜夫中將は廿九日より開催される設立委員會に出席のため二十六日午後七時五十分關東軍、大使館、關東廳の各關係者多數の出迎を受け、新京に到着、當地滿洲屋旅館に投宿した

金融組合で
定款改正申請
低資貸下げに伴ひ

新京金融組合ではさきに臨時總會を開き今回の低利資金貸下げに伴ひ次の如く定款の改正を行ひ直に關東廳に定款改正の許可を申請した

▲第三十條第一項中の千圓を二千圓に三千圓を五千圓に改正

▲第三十一條貸付金の期間は六月以內とす但貸付金の使途の性質上期限の償還を必要とするときは不動產上の擔保又は擔保に替ふべき定めある予金證書、國債證券、又は關東長官の認可したる有價證券を擔保とし十年以內の年賦償還若は定期償還の方法により之を貸付することを得、貸付金の使途の性質上期の償還を必要とせざる者に對してはその擔保を有する場合は三年以內の月賦償還の方法によりて之を貸付する事を得る旨改正

以上の如く年賦若くは月賦制度を設け一般利用者の＝便宜＝を計ると共に貸付金利の引下を斷行した即ち從來信用貸付金利日步三錢八厘を二錢八厘に擔保貸付金利優良有價證券による場合日步二錢五厘、組合預金による場合擔金利の五厘高、其他一般有價證券による場合は三錢一厘乃至三錢六厘を二錢八厘に改正預金金利は從來通りである又組合員の出資に數五口以上の者でなければ貸付を行はなかつたが一口でも貸付ける事になり或は團体預金の取扱を＝開始＝する等新京金融組合で政府の低利資金貸下げたエポックとして大々的に民衆に呼びかけ組合員の便宜を計る事となつたなほ同組合では加入申込者はぞしく加入させる方針である

淺野セメント
滿洲進出進捗
近く製造工場設置

淺野セメントの滿洲進出は豫てより計畫され、工場設置、場所選定中であつたが、愈々今回吉長線九站に資本金七百萬圓、日滿合辦のポルトランドセメント製造工場を設置することに決定、吉林省公署、實業廳に之が認可を申請した因みに同工場完成の上は原石を盤石縣方面より供給年十一萬キロの生產を見る筈である滿洲に於けるセメントの需要は昭和七年度十二萬五千キロで其の大部分は日本及唐山並にロシア方面より供給されてゐたが、本年度は時局の關係上唐山ロシア方面よりの輸入困難と見られるが新興滿洲國の都市發展に伴ふ建築界の繁忙から需要は激增二十萬キロの需要が豫想され此の好條件に惠まれた同工場今後の發展は相當有望視されてゐる

營口に
蘇聯木材商
總代理店を創設

營口東洋棉花會社副經理盛彭年外滿人數名は資本金十萬圓を以て本月中旬營口新市街綏定門街に蘇聯木材滿洲總代理店を創設し、從來東鐵商事部が取扱つてゐた木材輸出入業の請負契約を締結したが近日浦潮より木材多數を搬入する筈である、これに就き同業方面での觀測を綜合するに蘇聯側は東鐵問題の解決と共に滿洲國內の同商權が消失するとの共に何等かの形で存續せしめんと公生號を設立したものとの思はれるが更に國內第二次五ケ年計畫の進展と共に、必然的に外國資本と對抗上ダンピングもするだらうしそうした時の立場として造つたものだらう而し勿論斯界に與へる影響も少なくない

社告

二十七日は海軍記念日につき慶祝二十八日本朝刊は休刊、二十八日端午の節句につき滿洲國人職工慰安のため二十九日附朝夕刊も休刊致します

新京日日新聞社

栗山參事官
條約局長に

【東京廿六日發國通】廿六日の閣議に於ける決定人事左の如し

大使館參事官　栗山茂
任外務省條約局長

特命全權大使兼外務省條約局長　松田道一
免兼官

尙同松田大使は臨時外務省の事務に從事する事を命ぜられた

後藤亮一代議士
民政黨入り

【東京廿六日發國通】國同所屬岐阜縣選出代議士後藤亮一氏は、廿六日國同を脫し民政黨に入黨した

人事往來

▲楠本博士（帝大醫學部）二十六日午後七時五十分來京國都ホテルへ
▲米澤土木局長（遞信省）二十七日午後七時五十分來京國都ホテルへ
▲田村課長同上
▲梶井技師同上
▲藤井遞信局長（關東廳）同上
▲大森洪太氏（司法省人事局長）二十七日午前八時來京中央ホテルへ
▲三浦鍊太郎氏（吉林省總務廳長）二十七日午後四時吉林へ
▲西山財務局長（關東廳）二十七日午後四時三十分南行
▲鎌田正一氏（朝鮮及滿洲社社長）二十六日來京長春旅館へ
▲伊藤忠雄氏（朝鮮經濟日報新京支社長）二十七日著京挨拶のため來社
▲山成中央銀行副總裁は永樂町三丁目二十番地に轉居した
▲于宗海氏（奉天高等法院長）二十六日午後七時五十分來京
▲田中少佐（赤峯特務機關長）同上
▲山口衞生課長（關東廳）同上
▲井上少將（教育總監部）同上
▲山內中將（豫備役築城本部長）
▲島本大佐（ハルビン憲兵隊長）二十六日午後三時十五分來京

團體

▲大阪浪速區校長團六名二十七日吉林往復
▲佐賀縣教育團二十一名二十七日午後三時二十五分來京同十時南行

經濟欄

▲大阪府教育團日午前九時…
▲廣島實業補習…十七日午前六…
▲大阪鐵道局…十七日午前八…零時四十分…
▲佐世保商業生…七日午前六時…午後零時四…
▲福島商學生八…日午前八時四…へ

海外經濟

▲銀塊
倫敦銀塊　同遠期　紐育銀塊　孟買銀塊　米英爲替　米日爲替　米支爲替
スルチール株　アナゴンダ株

▲綿花
米綿　現物　七月限　九月限　十一月限　一月限　三月限　五月限
●印綿
ブローチ　ベンゴール　オームラ

▲上海標金
昨日止値　高値　安値　本寄　步値

▲上海倫敦向
賣値　買値

▲上海紐育向
賣値　買値

▲大連上海向

▲大連鈔票

▲大阪株式
株新　新紡　新鐘　大阪鐵
（相場數字 [illegible]）

▲同短期
新新新　東

▲大阪三品
當限　六月限　七月限　八月限　九月限　十月限　十一月限
（相場數字 [illegible]）

▲大阪綿花

▲大阪期米
當限　先限

▲橫濱生糸
當限　中限　先限
現物　當限　先限
（相場數字 [illegible]）

此の日天氣晴朗なれど風強し
西公園記念碑前で海軍殉職者慰靈祭
いとも壯嚴裡に取り行はれ
小林少將ら軍事講演に起つ

世界史上實に空前絶後類なき戰勝を博して一粟孤島日本が忽然世界の檜舞台に勇躍した光榮の日、けふ五月二十七日の海軍記念日は言葉通り天氣晴朗二十八年前の昔を追想するに誠に

＝相應＝しい日であるこの日駐滿海軍部、海軍協會支部、新京時局後援會らが中心に現下非常時における一般市民の緊張をより深めんためいろいろの行事が行はれた、まづ午前八時半から商業、高女、室町、西廣場および公學校の各校では駐滿海軍部より司令官小林少將始め織田伊藤兩大佐、志摩清水兩中佐らがそれぞれ演壇に立つて軍事講演を行つた殊に商業校における講演は小林少將自ら日本海軍の實戰を追想し引續き帝國海軍の牢固たる決意を披瀝して講堂の

＝聽衆＝に多大の感動を與へた同少將の講演は豫定より長引き凡そ二時間に亘つたがその間滿場の聽衆中唾を呑んで傾向し極めて有意義なものがあり終つて京商ブラスバンドの伴奏で一同軍艦マーチを合唱して一同感激裡に十時半散會引續き明治三十七、八年戰役滿洲上海兩事變海軍殉職者慰靈祭は同十一時から西公園夕陽ヶ丘海軍記念碑前で壯嚴に執行小林司令官始め駐滿海軍部幹部は勿論、軍部、時局後援會その他全市各團体各學校生徒一般市民ら多數

＝參列＝の中に神式を以て營まれ主催者、遺族代表、駐滿海軍司令官、關東軍司令官全權大使關東長官、日露實戰參加軍人代表、滿洲國代表、新京官民代表鄕軍新京分會長の順序でそれぞれ玉串を奉奠し約三十分間で極めて盛儀の裡に正午近く終了した、なほ今夜七時から西廣場小學校で海軍協會主催の下に軍事映畫が公開されその間小林少將が駐滿海軍部司令官として一場の挨拶があるはず

鄕軍分會 聯合總會終了

新京在鄕軍人會では二十七日の海軍記念日當日午前九時から海軍記念碑前に於て聯合總會を開いた當日は岡村參謀副長が特に滿洲在鄕軍人聯合會支部長としての資格をもつて出席過日久邇宮殿下より新京聯合副會長下德直助氏に賜つた在鄕軍人有功章の傳達式を行ひ直に海軍慰靈祭に出席終つて祝宴をなし萬歲を三唱して散會した

賓宴樓の中毒
用水の不潔と判明
各料亭にも蒸氣消毒を嚴命
〈お灸をすえる署

全市民に一大衝動をあたへた賓宴樓の料理中毒事件の原因は既報の如く滿鐵病院で試驗中の處二十六日左の如く判明した、原因は使用水を取かへないため亞硫酸含有を生じたのと、材料不潔から生じたものである、同店では二十七日から營業を開始した、なほ新京署保安係では二十七日更に全飲樓、大陸春、賓宴樓の主人を呼出し、臺所並に使用人の衣服の淸潔について嚴重訓示をなすとともに從來客に對し冷タオルを出してゐるを廢止し各料亭で蒸氣機械を購入せしめ蒸氣で消毒をして出すことにせしめた

新京の淸涼飲料水 近く一齊檢査

日に增す水銀の上昇に市民の裝ひは一變して、しばしの息づきに冷めたい飲料水は何れの商店でも素晴らしい賣行だ新京は急激な人口增加の爲飲料水拂底し、各商店飲料水店は粗惡な物品を高價に賣込む爲、之に反感を懷ける市民の投書頻々として舞ひ込むので新京署でも棄て置けず、近く一齊に檢査し、不衞生なもの公定價格以上のものはどし

氷水屋の願出續出

數日來新京の氣溫はぐんぐん昇つて全くの夏となつたこの暑氣に驚いたか、氷水の營業許可願が續々新京署衞生係に提出せられ、二十六日現在で早くも二十五件の多數に上つた、今年は昨年と異なり人口の增加で二百件は突破するであらうと云はれてゐる

橫領犯人捕はる

愛媛縣生れ中藤善馬はハルビンで八百圓を橫領し二十六日午後九時十五分中東列車で新京驛に下車した處をハルビン領事館警察署の手配により新京署原田刑事に逮捕された

海軍記念日所感
駐滿海軍部司令官　小林省三郎

今日は我々海軍軍人は勿論日本全國民の永遠に忘れ得ざる海軍記念日である、御承知の如く過ぐる明治三十八年の五月二十七、八兩日に亘り帝國海軍は其の

＝全力＝を擧げて、露國が其の陸戰の頽勢を挽回せんが爲め我滿洲出征軍の後方連絡即ち海上の交通線を斷ち切らしむる目的を以て本國より遙々廻東に派遣したる所の「ロジエストウエンスキー」中將麾下の太平洋第二艦隊、第三艦隊を對馬海峽に邀擊殲滅し振古未曾有の大勝利を得て極東の制海權は完全に我に歸したのである、其當時露國の野戰軍の後方交通線たる西比利亞鐵道を遮斷することは至難であつたが我が滿洲出征軍の後方連絡たる日本海、朝鮮海峽此等の海洋にして一度露國海軍の制する所とならむか我が一兵と雖も大陸に渡ることが出來ないのみならず在滿數十萬の野戰軍は死地に陷らなければならないのである、此の吾等の最大弱點に向つて突擊し來つた太平洋第二艦隊、第三艦隊、艦艇四十隻二十萬餘噸い激擊の成否は眞に皇國興廢に關する由々しき一大事であつたのである、本海戰の大勝利が我陸軍の大勝と相俟つて遂に露國の

＝戰意＝を挫いたのも實に[illegible]るのである當時を懷古するに或は滿洲の野に皇軍のあふ所敵なく勝利を以て終に彼の戰果を結ぶことの出來たのは一に至尊の御稜威に因るとは申せ又以て文武一体擧國一致の奮鬪に因らずんばあらずと信ずるのである、爾來年閲すること二十有八年、我國は終始一貫東洋平和の確立を國是としたるの歷史眼を以て見れば今日の非常時は日露戰爭の連續とも云ふ可く日露戰爭も今日の非常時も東洋平和確立を目的とする我國是の遂行に外ならぬのである。今や滿洲國は匆々にも係らず健全なる發展に向ひつゝあるは誠に喜ばしきかぎりであるが翻つて內外の現狀に照し外東亞の情勢否宇內の形勢を觀望すれば其の前途に暗雲只ならざるものあるを感ぜざるを得ないのである、此

＝現下＝の國難を克服するは即ち日露戰爭の終結の目的を達成する所以にして亦正義の爲に血を流したる先輩及同僚に對する責務であると固く信ずる次第にして此東大時機に滿洲に在つて海軍記念日を迎ふることは吾等海軍軍人に取つて感慨深きを感ずるのである

朝鮮人射殺さる

去る十九日午後九時ごろ卡倫愛家子朝鮮人崔周鉉(二九)が妻子とともに就寢中盜の破れてゐる處から何者かが拳銃で射殺した事件があつた、屆出に接した新京總領事館警察署から二十七日堀內警部補外巡査二名は死體檢證のため現場に出張した

建國運動會の
プロを急ぐ市政公署
國体的且興味本位に

新京特別市政公署では滿洲國体育協會新京支部主催の下に

＝開催＝される建國記念第二回新京大運動會主催者として本大會を建國記念の意味に於て當日を大いに謳歌せしめる約束の下に文字り民衆の總意に基く運動會たらしむ可く、各機關より委員推薦中であるが、學校、協和會、滿鐵地方事務所、新京特別市より成る準備委員は既に數次の委員會を開き左記の如きプログラム決定され、之に加ふるに諸會社銀行一般市民等から考案されるプログラムは必ずや全市民の興味を西公園に集中し、空前の盛會を豫想されるが、尚ほプログラムは國体的興味本位に編成されるが、既に決定せる部分は騎馬戰、劍道野試合、ダンス(五種)、棒倒しラヂオ体操、亞鈴体操、綱引鬪球、假裝行列等で

＝目下＝計畫中のものには滿洲國官吏、滿鐵、軍部、一般聯合のリレー、レース等がある

けさ財政部出火
裏のボーイ室を燒く

二十七日午前七時五分ごろ新京北門外滿洲國財政部本廳裏支部煉瓦建長屋二階ボーイ室から出火急報に接した日滿消防隊を初め日滿警察署では時を移さず出動消火に努めたため大事にいたらず同七時三十五分二階一部を燒却し鎭火した、財政部內のことゝて日滿官憲は重大視し現場に出動附近一帶の通行を遮斷警戒した、損害は百五十圓余原因は目下首都警察廳で取調中である

加藤タキさん 經過良好

既報、強盜に襲はれ瀕死の重傷を負ふた市內祝町二丁目加藤葬儀社加藤タキさんは滿鐵病院に入院加療中であるが經過は良好である

行方不明中の
タカ子さん發見さる
奉天驛で徘徊してゐる處を
故鄕懷しさの余りか

遠足の歸宅突如行方不明となつた市內祝町二丁目十二番地二號滿鐵社員岩堀外吉氏妹岩堀タカ(二八)さん同長男倫(七)さんの行方に就き新京署で搜査の結果奉天驛構內で徘徊してゐるを同署の手配で奉天署員が發見した取調べの結果タカさんは二十五日午後四時半ごろ日滿自動車で孟家屯に到り同驛から新京發午後五時五十五分四平街列車に乘車し四平街で更に新京午後十時發奉天行き列車で奉天に行つたもので內地へ歸りたさのあまりこうした方法をとつたものらしく岩堀氏が奉天まで迎えに行つた

拉致米人救出
日滿官憲の努力に對し米副總領事感謝

(奉天廿六日發國通)四月二日岫巖に於て拉致された宣敎師メルスン氏の事情調査の爲十八日飛行機で岫巖に赴いた米國副領事ホール氏は、廿四日歸奉、廿五日日本總領事館を訪問したが左の如く語つたメルスン氏の救出に對しては同地縣長を始め日滿官憲協力これに當つてゐて呉れるが何分同地は峻險な山嶽地帶で討匪困難なる事を痛感した、目下日滿官憲が決死的努力を以て救出に努めてゐて呉れるから近く無事に救出されると思ふ、現地の救出隊に對しては感謝の外はない

白衣の勇士 凱旋

二十七日午後零時四十分新京發十八列車で新京より八名鐵嶺より六名奉天より十名遼陽より四名計二十八名の白衣の勇士が懷しの故山に向ひ晴れの凱旋の途に上つた

滿鐵で 安奉線の 植物魚蟲研究

(奉天廿六日發國通)滿鐵では、安奉沿線に於ける植物及魚蟲類研究に關する相當學究的なパンフレツト發行を計畫中で近く日滿外人を問はず斯界の權威者を招聘して安奉線に派遣實地調査を委囑する筈であるが、餘り世に知られずにある滿洲の魚蟲、植物類を研究紹介することは、學界に相當寄與する所があるものと觀られてゐる

元泊も危險に瀕す
樺太の山火事

(豐原廿六日發國通)樺太の山火事は廿一日發火以來既に六千町歩を燒き盡し、目下尙延燒中で炎々たる焰に覆はれ樺太廳其他民間より五千餘名出動して消火に努めてゐるが全く手の下し樣なく唯降雨を待つのみとなり元泊の市街地も危險に瀕してゐるが、廿五日午後六時よりは更に北東の烈風となり火勢愈々猛烈を極め豐原全町の空を覆ひ物凄き光景を呈して居る

大連汽船の 鞍山丸
豐後水道で坐礁

(門司廿六日發國通)大連汽船鞍山丸(三八九〇噸)は石炭を滿載し淸水港に向ふ途中廿五日午後十時半濃霧のため豐後水道佐田岬附近で暗礁に乘上げ、一番船艙船底を大破し浸水甚だしく危險に瀕したとのSOSを受けた東京サルベージ門司支店では廿六日午前零時半吾妻丸を現場に急行させたが乘組員は全部避難した

白川曹長の 遺骸錦州着

(錦州廿七日發國通)去る廿二日多倫東南方五十粁の地點で不幸敵匪の爲猛射を受け、不時着戰死を遂げた愛國滿洲號白川曹長の遺骸は廿五日午前八時廿分東濶中尉の手によつて承德に運ばれ直ちに僚機二機に守られ、午後四時錦州に到着、同夜本隊に安置され廿六日午前十時半より同隊篠原大尉以下戰友一同及び〇〇隊領事館關係、居留民參列の上盛大に慰靈祭が行はれた

伊空軍二十機 北大西洋橫斷

(ローマ十六日發國通)伊太利空軍の精銳二十機は、航空相バルボ將軍指揮の下に愈々廿六日より六月上旬までの間に氣象定まるを待つてニューヨークへ向け一氣に北大西洋橫斷編隊大飛行の壯途に上る事になつた

日本基督集會

日曜學校午前九時より
朝の禮拜午前十時より
演檀(基督の形)吉川牧師
夕の禮拜
演檀(黑龍)吉川牧師
新京中央通 日本基督敎會
どなたも御來會歡迎致します

日の出を拜するつどひ

(日曜日)朝三時四十分より
西公園誠忠碑前にて
(新京日出時刻四時三分)

愛知縣人野遊會

新京愛知縣人會に於ては二十八日午前十一時より西公園夕陽ヶ丘廣場に於て野遊會を開催する筈で、會員諸君は奮つて參加されたし尙は未だ申込なき縣人は會場に於て加藤幹事まで申込まれたしと

記事訂正

既報、加藤葬儀社の强盜傷人事件に關しボーイ楊長春が植田パン屋にゐた如く陳述せしため右の如く報導したが右は加藤葬儀社員植田鷹之介氏方のボーイなる由につき訂正す

▲滿鐵社員家族會午前九時西公園夕陽ヶ岡
▲新京愛知縣人會野遊會同
▲福岡縣人會家族會同十時誠忠碑與
▲國際運輸野遊會同夕陽ヶ丘
▲滿洲銀行支店野遊會同

ラヂオ

二十八日(日)新京
新京前一一、五〇 講演
一二、二〇 滿洲國及沿海に於ける日本海軍及滿洲國海軍の活動 駐滿海軍部附海軍大佐 伊藤整一
新京後四、〇〇 レコード
新京後四、三〇 演藝
新京後五、〇〇 時事解說
新京後五、三〇 ニュース
(滿洲語)
東京後六、〇〇 ニュース
東京中央放送局編輯
新京後六、二〇 演藝又は講演
新京後七、〇〇 レコード
新京後七、二〇 ニュース
(朝鮮語)
新京後七、三〇 ニュース
氣象概報、放送局編輯及プログラム豫告
新京後八、〇〇 演藝
東京後八、三〇 時報
東京後八、三一 ニュース
東京中央放送局編輯
新京後八、四五 時事解說
熱河討伐に從軍しての所感
民政部社會科 金鍾善

二十九日(月)新京
奉天後四、〇〇 レコード
錢鈔金銀相場 商業通信社
新京後四、三〇 演藝
新京後五、〇〇 講演 文敎ト和平
文敎部普通敎育科長 趙德建
新京後五、三〇 ニュース
(滿洲語)
東京後六、〇〇 ニュース
東京中央放送局編輯
新京後六、二〇 演藝又は講演
新京後七、〇〇 ニュース
(英語)
新京後七、一〇 ニュース
(露西亞語)
新京後七、二〇 ニュース
(朝鮮語)
新京後七、三〇 ニュース
氣象概報、放送局編輯及プログラム豫告
新京後八、〇〇 演藝
東京後八、三〇 時報
東京後八、三一 ニュース
東京中央放送局編輯

明日

▲舊曆端午の節句
▲滿洲電氣商會家族會、同衞戍病院前方
▲新京木林組合野遊會同海軍記念碑北方

五月二十九日　舊五月六日
月曜　乙未　佛滅　[illegible]　張宿

●一白の人　目上の者の感情を損ひ易き日控へ目が安全　乙と巳と丙が吉
●二黑の人　姑息手段を採らず飽くまで働きに依るべし　乙と亥と丑が吉
●三碧の人　思ひに耽れば身を焦がす位高きも驕る勿れ　庚と亥と壬が吉
●四綠の人　打てば打たるゝ世の習ひ低きに居るが安全　丙と亥と癸が吉
●五黃の人　多少の支障はあれど撓まず勵めば吉に向ふ　乙と申と亥が吉
●六白の人　事を始むるに善き日但し急ぐ事は愼むべし　甲と乙と申が吉
●七赤の人　勞苦を積みし報ひの我が身に廻り來る吉日　乙と申と辛が吉
●八白の人　流言浮說に動かさるゝ日新しき事は尤も凶　甲と戊と丑が吉
●九紫の人　四圍の感情を損せざれば次第に吉運となる　丙と丁と亥が吉

幕末異聞　愛慾火箭（六十六）

作　瀧川駿　畫　村瀨洗舟（上演上映）

大道繪師（五）

文久元年十月十五日、西大谷五條坂を登り詰めた所にある、若宮八幡宮は、七年振での本祭りだつた。

風車をつけてゐる、時世をよそに上總は、和な氣持に包まれた參詣人の波だつた。

『さあ召しませい！ 文久名物の目かざし面は三つ二文』

石段の双方に陣取つた面かざし屋の滑稽しい聲。なる程文久名物の呼び聲は、思ひつきである。

祇園から文久にかけて、晝と言はず夜と言はず此處彼處に、近寄り、靈驗が流行した。その信者は申し合せたやうに覆面してゐた。目かざしは其處から思ひ付いたらしい。

石段の上り口に陣つた風體の目かざし屋が一人ゐた。小造りの男で粉付髮に月代を小判形に剃した三十男。鳳濤の上から前田の帯をしめてゐた。

の中へ藏つて置くと言ふ繁昌ぶりなので、利國は此處の所忙しい。

『はい暫く待つて下さいまし』

俄に利國は忙しくなつて來たので面喰つてゐる。當の本人はなぜこんなに賣れるのか、それを知らないが……。祇園から河原町、先斗町木屋町へかけての姐さん達は、利生大明神と書いた文字を紙入へ藏つて、肌身を離さない……。こんな事が京都の色町に流行つて來た。

利國はやい〳〵催促をされながら一枚の繪を畫き上げた。

もう日も西に廻つて、參詣人の影もポツ〳〵だつた。繪師と言ふ稼業は、科學の發達した今日ならいざ知らず、その當時は日がかげつてしまふと、てんで商賣にならなかつた。

しかし、境内の商人共が賣物を卷いて歸つて行くのに、利國の店先だけは人だかり。

それは目から鼻へ抜ける程、頓智の利く寸駒の甚六だつた。

『おんや？』

驚いたのは、その筋向ひに店を出してゐた一貓齋利國だつた。浮世繪師に十思と言ふ繪師風なので、これをよもや利八だとは浮石の甚六も、氣が附かなかつたらしい。

寸駒の甚六は、手に目かざしを刺し吊るした藁苞を持つてゐるが、その目色は全々商賣に身を入れてゐない事が良く判る。

何を探してゐるのか？ 通行人の面體を一々檢め覗てゐるのだつた。

例の一力樓の一件以來、浮世繪の流行と、利國の評判は大變なものであつた。

『利國の浮世繪は水商賣の守り札ぢや』

斯う言ふ人が利國の店先に立ち並ぶ。

『一貓齋の浮世繪は厄除や、さうやおへんか』

一力樓の噂を知らない地方の娘衆まで、利國の半切を、紙入

『今日はこれだけにして置いて下さい。もう日も這入りましたので』

『だつて私は昨日から待つてゐるのやぜ、どうあつても書いて貰はねば』

『でも御座いませうが……』

斯う言ひながら利國は、ひよつくり頭を擡げた。其處に立つて面を睨してゐるのは、盲縞の股引に唐桟縞の着物、一本獨鈷の博多の帯をしめて、片褄端折つた箱屋姿の二十六七歳の男だつた。

『おや！』

利國は驚いて顏を見上げた。その箱屋の目は口以上に物を言つて、何か言はうとする利國の言葉を制した。それは何と傳吉與四郎の變つた姿ではないか。

『ぢや暗がりで書けないと仰しやりや明日まで待ちませう！』

『さうして下さいまし』

利國が店をしまひ始めると待ち疲れた人々は歸つて行つた。

がらんとして人氣のない境内に、利國と與四郎だけが殘つた。

五月廿八日　日曜　甲午　先負　八五日　除　皇宿

●一白の人　意志堅固にして直進すれば目的は遂せらる　巳さ庚さ丑が吉
●二黒の人　奮發心を起せば效果大に揚るべし迷ふは凶　丁さ辛さ戌が吉
●三碧の人　諸事進むは宜しからず分に安んぜよ病注意　申さ庚さ癸が吉
●四緑の人　心焦りをするのみにて物事進捗しがたき日　庚さ壬さ癸が吉
●五黄の人　運氣良好なれども輕々しき行動は愼むべし　乙さ丙さ辛が吉
●六白の人　積日の苦心も効果現はれ商談婚談調ふべし　甲さ亥さ寅が吉
●七赤の人　不覺を招くの日餘計な事に手出しをするな　乙さ戌さ寅が吉
●八白の人　幸運の日萬事進んで功あり起業開店皆吉　丙さ辛さ戌が吉
●九紫の人　物事手違ひを起し易く散財亦多かるべき日　乙さ丁さ庚が吉

南滿鐵路

大連發	周水子	金州	普蘭店	瓦房店	熊岳城	蓋平	大石橋	海城	湯崗子	鞍山	遼陽	蘇家屯	奉天到	奉天發	鐵嶺	開原	昌圖	四平街	公主嶺
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]